

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立厳木中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・各担当で工夫した取組ができているが、項目によっては昨年度を下回っているものも見られる。今年度の振り返りを通して次年度の改善策を全職員で創意工夫して実践していきたい。 ・コロナ感染症の5類への引き下げにともない、地域と連携した取組を行うことができていた。今後も地域に開かれた学校づくりを推進するため、地域連携に力を入れた取組を行ってきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	夢にむかって 学び続けようとする 子どもの育成～地域とともに 未来を拓く 厳木小中学校～
----------	--

3 本年度の重点目標	・学力向上～小中併設校として9か年の学習内容や教育課程、発達段階に応じた魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。 ・社会性の育成～生徒一人ひとりが活躍できる場面や役割を設け、承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。 ・特別支援教育の充実～支援の必要な生徒に対して、合理的配慮に基づいて個別支援の実施する。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○校内研究及び校内研修の充実 ○家庭学習を充実させるための取組	○学力向上対策評価シートに示した共通実践及び成果指標を達成した教師70%以上 ○家庭学習の時間について、1日あたりの各学年の目標時間を達成した生徒が70%以上 1学年:1時間30分 2学年:2時間 3時間:2時間30分	・各教科とも、各単元における「課題解決に必要な力」の明確化と向上を目指した授業計画を作成し授業を実践する。また、全職員が年1回の研究授業を行うことで、授業の改善を図る。 ・Qフレンズと自学ノートの取組の推進。 ・生徒会による家庭学習を充実させるための取組。 (家庭学習に関する調査や集計発表、テスト予想問題の作成と実施など)		・		・		・	
	○生徒の学習状況や課題の把握 ○「知識・技能」の定着を目指した取組 ○「思考・判断・表現」の向上を目指した取組	○本年度は12月に過去の県調査問題を実施することで取組の成果を計る。 成果指標 ・各教科のQテストの合格率が50%以上 ・学期末テストや実力テストにおいて、「知識・技能」、「思考・判断・表現」ともに到達基準を超える生徒が60%以上 ※到達基準は県学習状況調査の問題等を基に各教師で設定。	・学習状況調査やNRTなどの分析による生徒の学習状況の把握。 ・各教科における単元テストの実施。 ・QタイムとQテストの実施。 ・「思考・判断・表現」を必要とするような学習課題を設定した授業の実施。		・		・		・	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおける肯定的な回答をした生徒80%以上	・道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業力向上のための資料提供 ・保護者への保護者と連携したふれあい道徳の実施 ・学級通信等による道徳科の授業の紹介		・		・		・	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○職員に相談しやすいと感じる生徒率80%以上。 ○学校が楽しいと感じる生徒率80%以上。	・毎月、「いじめ・生活アンケート」を実施 ・6月と11月に担任との教育相談週間を実施 ・全職員における生徒指導の体制作り		・		・		・	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒70%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒70%以上	・あらゆる学校生活の場において、生徒の様子を観察し、よいところを認める機会を多くもつ。 ・総合的な学習を中心に、全ての教科やふるさと探訪や職場体験、地元企業訪問等の郷土学習を通して郷土を愛し将来の目標に向かって自ら考える時間を確保する。		・		・		・	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○朝食喫食率95% ○「健康に良い食事をしている」生徒90%以上	・生活状況調査の実施 ・食に関する意識調査の実施		・		・		・	
	○健康意識の向上と体づくり	○体力・筋力が向上したと考える生徒が80%以上	・新体力テストの実施 ・体育の授業前に補強運動(筋力トレーニング)を実施		・		・		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守できた教職員80%以上。	・週2日以上部活動休養日の実施。 ・水曜日の定時退勤実施の推奨 ・年休取得を促進するため、バースデー年休の取得推奨並びに長期休業中に会議の設定を工夫する。		・		・		・	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80パーセント以上		・特別支援に関する研修会 ・個別の支援計画・個別の指導計画の記入についての研修会						
○生徒会活動の活性化	○生徒に学校行事や生徒会活動の中で活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、主体性を高める。	○「専門部の仕事を自覚し、責任をもって取り組むことができる」について肯定的な回答をした生徒70%以上		・生徒集会、生徒総会、新入生対面式等の行事や専門部の活動の中で活躍する場をたくさん設け、振り返りをさせて次につなげる。						
○地域連携	○いきいきからつっ子育て成事業を活用したキャリア教育の実施。	○地域での教育活動に対する生徒満足度を80%以上		・各学年で地域での教育活動を設定する。 1年ふるさと探訪 2年職場体験 3年ふるさと企業訪問						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------